

川東の里だより

2006.7 No.83

発行者
伊藤 義 則

発行所
総合施設「川東の里」

きたみ学園
きたみ学園成人部
☎24-2701

川東学園 ☎24-3030

友楽里・風楽里
☎23-9591

フレンズ ☎22-6395

北見市川東226番地

印刷所
(有)サンケイプリント社



平成18年6月10日『川東の里』親子合同大運動会

前日までの悪天候とうって
変わり、絶好の運動会日和に
恵られました。

八時半の花火を合図に競技
が開始され、『綱引き』や『め
ざせフレンズパン』など、そ
れぞれの各競技を一生懸命に
頑張っている姿は、真剣で、
観客席からも熱い声援があち
こちとびかっていました。

又、保護者の方達にも参加
協力を頂き仮装競技ではすて
きな衣裳に身を包み大変身に
びっくりさせられました。

最後のリレーは、職員もく
わり、赤組、白組の勝利へ
と、大活躍し、グラウンドーぱ
いに笑いや拍手、声援がひび
きわたり、かなりの盛り上が
りで大運動会を終える事がで
きました。

保護者のみなさまの御協力
ありがとうございました。

理事長就任にあたって



社会福祉法人川東の里
理事長 古川 義一

平成十八年四月一日。社会福祉法人めぐみ会から、障害者施設に所属する全資産の分離譲渡を受けて、新たに、社会福祉法人川東の里として設立され、関係者各位のご参席をえて、盛大に記念式典を挙行することができました。

この日から障害者自立支援法の基本部分がスタートを切りました。時恰も一市三町が合併した新北見市では、市長、市議会議員選挙の真最中でありました。兼て、ご承知の通り当法人は、昭和四十二年三十名の児童障害施設きたみ学園として、川東北見老人ホームの二偶に創立発足して以来、その事業規模は、時代の要請と共に、成人施設、授産施設等、拡大の一途を辿り、明年は四十年を迎える実績を積み重ねております。

私はこの間昭和五十年より理事に就任して以来三十年、学園施設の建設委員長として十年

関ってまいりました。待望の新施設完成には一入感慨深いものがあります。

移転開設されて既に四年目に入っておりますが、この間行政よりの措置費から支援費へと制度が変わり、又本年十月からは障害程度に応じた介護給付、訓練給付に移行されることになりました。

今後の障害者福祉の流れは、施設利用から地域移行へと進んでまいります。また障害者の判定基準に基いてのサービス提供とその対価等、不透明な面がありますが、徐々に明らかになってくるものと思われまます。

このような一大革命の時期に理事長の重責を担うことは身の引き締る思いで一杯ですが、新役員として快諾就任いただきました方々のご尽力を賜わり、又、施設長はじめ有能な職員の努力、行動力に支えられて利用者はもとより、そのご家族の安心のために、又法人の健全な運営のために、微力をつくす決意を新たにしております。

最後に関係者各位のご鞭撻とご支援を衷心よりお願い申し上げます。就任の言葉といたします。

心の通じ合い



川東学園父母会
元会長 松井百合子

子供達が、大事な散歩コース常呂川の土手を歩く姿を見ながら、南岸通りを安全運転で通ります。

遠くからも「川東の里」が実に立派に見える。

整備された施設が知的に障害を持った多くの人たちに利用され、この地域での中心的な役割を果たしていること誇りに思い感謝しております。

永年つとめさせて頂いた父母会々長の重責をこの度橋詰浅雄さんにバトンタッチし新会長のもと、今後の父母会が一層結束し発展することを期待してまいります。

平成十年父母総会で突然会長を命じられ、当時すでに何年も前から施設老朽化のため改築移転が話されてきていました。

建設には父母会として多額の自己資金が必要で臨時総会を開くなどして会員のみなさんの理解と協力を得るための準備に努

力していたが建設へ向けての具体化は行政側と平行線でなかなか進みませんでした。

ある時、企業部次長の北西さんから「小山市長にお会いして見ないか」と声をかけられ田中園長に相談し父母会で陳情として加藤保健福祉部長と北西さんに市長にお話しできる場を決定していた、だき園長はじめ役員全員で施設の実情と移転改築をお願いしました。

その後小山市長は夜一人で学園を訪れ施設の内情を見て行かれたと聞いている。この話し合いを機に長年の夢が実現に向け出発したのだと思えます。

もちろん運営母体である理事長はじめ理事の皆さんには私たちの目に見えないところで奔走していただいたことに深く感謝しております。



重責を終えて



施設整備を進める会
元会長 石本 重夫

思い起こせば私が納涼会（ビールパーティー）の会長の任務を命ぜられたのが昭和六十三年で、前田中会長から受け継ぎました。田中会長は創設から大変御苦労されてこられました。

私はお陰様で会員の皆様の御協力によりなんとか務めることが出来ましたが、その中で私の言葉足らずの発言で皆様に不快な思いを与えた事が多々あった時のことを思い出すにつけ、今になり誠に申し訳なく思っております。

施設準備を進める会が永年に亘り、備蓄したものが新設の時の自己資金の一部となり立派な学園が出来上ったのです。

新設に当り社会福祉法人めぐみ会亀井理事長の御尽力はもとより北見市長始め北見市民の皆様様の御理解と御協力の賜と思ひ心から御礼を申し上げます。

この度、私に変わって新会長に竹ヶ原様を選出していただきま

したので私にお寄せ下さいましたと同様に新会長に御協力をしていたらどうかようお願い致します。今後、この会が益々発展して行きますようにお祈り致します。最後になりましたが永年に亘り御協力並びにお世話になりました事を心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。



地域のゴミ拾い

自治会活動 せせらぎの会 一年目をむけて

昨年、入所者による自治会組織として発足した、せせらぎの会。今年は二年目をむかえ自治会としての彼らの認識もようやく一歩踏み出したところです。

自治とは自分たちの手で運営していくものです。しかし彼らは自治会の経験も浅くお互いのコミュニケーションもうまくとれず、その力はまだまだ足りません。そこで私たち支援員はその力を育て援助していく必要があります。その過程として次のような目標を設定しました。
一、自分たちの生活の中で問題に気づく力を育てる。
二、問題を考え皆で話し合う力

を育てる。
三、自分たちで考え活動する楽しさを育てる。

以上の三点の柱を中心に今年度は更に多くの話し合いの場を持つことを予定しています。これまでの話し合いから、昼食の類の時間におにぎりを出して欲しい。パン食をもっと増やして欲しい等の要望が出されました。現在、栄養士から年令や肥満等を考慮しながら個人にあった主食の量や週二回のパン食献立が提示されています。その他数多くの方から旅行に行きたいとの要望も出されました。また視力が不自由な利用者からは、園内を一人で歩けるようになりたいたいの切実な訴えもありました。これらの意見、要望を集約し関係する担当と協議し利用者の生活改善を図っていききたいと思います。

自立支援法の施行に伴い様々な制度が変りました。医療費、食費（日常生活費）そして地域での生活についても勉強会を開いていきたくと考えています。意見、要望を云うとともに自分たちの生活をしっかりと見つめていって欲しいとおもいます。

川 東 学 園

支援員 村 田 蒔 子

きたみ学園に オンブズマン制度を導入

オンブズマンってなあに？
スウェーデン語で「代理人」
を意味する言葉です。

福祉施設のオンブズマンは、
利用者の苦情や批判、本人の意
志、ニーズを拾い上げ、サービ
ス内容をチェックすることです。

なぜ、施設にオンブズマンが
必要なの？

福祉施設で言えば、まだまだ
閉鎖的な所も多く、職員と利用
者さんとの関係で、一般社会と
異なる面があります。

職員や施設の都合でサービス
が行われてしまったり、利用者
さんの主体性を損なうまちはつ
た支援が行われないように、施
設が気づきにくい点を利用者さ
んの立場で、チェックします。

オンブズマンの主体はどこで、
誰がなるの？

この事業は、北海道知的障が

い福祉協会が主体で、平成十八
年度、一年間はきたみ学園が受
けることになりました。

地域の中で社会的に信用があ
り、客観的に苦情への対応やサ
ービス内容の評価ができ、利用
者さんの立場を理解できる人等
が適任です。

きたみ学園担当のオンブズマ
ンは、左記の四名の方々です。

人権擁護委員 石井 定男氏

社会福祉士 林 浩幸氏

民生委員児童委員 大島さおり氏

権利擁護委員 山形 真一氏

オンブズマンの役割は？

利用者さんからの要望・苦情
の受け付けや相談をします。

また、施設サービス内容の調
査や評価したり、更には、施設
サービス内容の改善提案などを
します。

きたみ学園の受け入れは、い
つ、どのようになるの？

オンブズマンの方々が学園に
三回訪問します。時期は、六月

七月、十月十一月、一月
二月を予定しています。

施設のあらましを一時間程度
説明します。施設内をあるがま
ま見てもらい、利用者の代表(自
治会、又は、代表者若干名)と
懇談や聞き取りをして、オンブ
ズマンより感想を述べていた
き、改善に生かします。

川東の里に(法人機関) 第三者委員会を設置

運営方針

- ・利用者さんの深刻な苦情や相
談への対処をします。
- ・福祉サービスの質の向上のた
めに施設に改善点を進言しま
す。
- ・委員会は定期的に年二回開催
します。

担当者

元萌木の会施設長 鳥越隆二郎氏
音楽指導者 大橋 美恵氏
斜里日の出学園監事 椿原 稔氏

施設内に 苦情解決委員会を設置

運営方針

- ・利用者さんの要望・苦情等を
人権やプライバシーに配慮し
適切に対応します。
- ・保護者や地域住民・ボランテ
ィア等からの要望・苦情を受
け止め改善しサービスの向上
に努めます。
- ・第三者委員会の意見・評価を
利用者さんの福祉サービス向
上に活用します。
- ・悩みごと相談を年四回設定し、
直接利用者さんの声を聞いて
対応します。

担当者

きたみ学園職員
橋本 和義 小関 治子
川東学園職員

若沢 勇樹 田村 未帆
フレンズ職員 安念 護
以上のチェック機能を有効に
働かせ、利用者本位のサービス
提供をして参ります。

文責 伊藤 義 則

きたみ学園に仲間入り

- ・佐藤 裕也 さん
- ・岡村 清二 さん

川東学園に仲間入り

- ・柴山 典子 さん
- ・松尾 祥子 さん
- ・水嶋 まり子 さん
- ・安原 桂子 さん

風楽里に仲間入り

- ・三上 順市 さん
- ・森谷 健司 さん
- ・宗片 真也 さん
- ・清野 和也 さん
- ・木村 幸也 さん
- ・中野 絵梨佳 さん
- ・石坂 七月 さん
- ・土門 亜沙美 さん
- ・増田 理宏 さん

きたみ学園を退所しました

- ・横田 正美 さん



きたみ学園・川東学園を退所しグループホームで生活が始まりました

えんれい荘

- ・益子 久美子 さん
- ・山崎 とし子 さん
- ・佐京 美也子 さん
- ・森 富美子 さん

新職員紹介

川東学園

- ・松原 みゆき 看護師
- ・伊藤 桂子 支援員 (夜勤)

きたみ学園

- ・澁谷 拓 支援員
- ・美濃 眞理子 支援員 (夜勤)

きたみ学園成人部

- ・尾崎 朋美 看護師
- ・小栗 かな 支援員
- ・武田 睦子 調理員
- ・友楽里 支援員
- ・橋本 佳津美 支援員
- ・高橋 早苗 支援員

フレンズ

- ・村中 陽子 支援員
- ・吉田 由忍 支援員
- ・グループホーム世話人

退職しました

川東学園

- ・若沢 和恵 さん
- ・赤塚 久美子 さん

きたみ学園

- ・曾野部 智幸 さん
- ・福田 千賀子 さん

きたみ学園成人部

- ・吉村 久美 さん
- ・堤 絵里 さん
- ・金一 知子 さん
- ・加藤 恵美子 さん
- ・友楽里 支援員
- ・寺田 真由子 さん
- ・中村 悦子 さん
- ・フレンズ
- ・八巻 敏恵 さん

川東の里に勤務して



きたみ学園支援員 澁谷 拓

四月から「きたみ学園」で勤務し始めて、早三ヶ月がたちました。この三ヶ月は仕事を覚えることが中心で、日々が勉強でした。今は学校班に所属しており、紋別養護学校きたみ学園分校に通っている児童の支援にあたっていきます。みなさん元気が良く、毎日を楽しみ過ぎていきます。釧路で知的障がい施設に勤務していましたが、児童の支援をするのは初めてのことで、分からないことも多く、上手く支援できているのかと考えることもありましたが、日々彼らと触れ合い、今後より良い支援を行っていきけるように学び、努力していこうと思います。少し慣れてきた頃ですが気を緩めることなく、より良い支援を行っていきけるよう努力していきたいと思えます。

H18・5・31現在

青空班旅行



6月19・20日
花畑牧場
うまくしほれるかなあ



5月14日
農場パークゴルフ場の
ネットはり
寒い中ごくろうさま



十勝ナチュラルパーク
ふわふわボール区
のって最高



風楽里 窓ふき
ピカピカになったね

きたみ学園親子旅行



知床第一ホテル
夕食はバイキングで
おなかがいっぱい



網走湖荘にて
おなかがいっぱい!!



網走監獄見学
さあ
しっかり
みてこよう!!



女満別道の駅
暑い時のアイス
はおいしいね

川東学園親子旅行

お好みりめこの思い出



私は5月31日から6月1日の2日間、お好みりめこのうがあげました。私のグループは野球観戦でした。ホテル

に着いてすぐバスにのりまして16時10分頃、札幌ドームに着きました。日本ハムVS巨人の試合が始まりました。前半は日本ハムが4点リードしましたが、後半は巨人の9点も取られました。結果は11対4で巨人が勝ちました。日本ハムが負けで悔しかったです。

ホテルの部屋は707号室でした。私と、理恵ちゃん、丸銭さんでした。2日目の朝、ホテルを出る前、吉村さんに逢いました。うれしかった。イオンで買った。学園に着いたのは18時前に着きました。本当につかれませんでした。

きたみ学園成人部

上村 裕美



三はく四日でおきなわに行きました。短かかったのもう少し、ながかったらよかった。ハブとマンガ

ースのけっこうを見ました。小さい通いで、がいものを買いました。たくさんおみやげを買いました。今度ゆっくりかいものしたいです。ここもあつかつたけど、夜の海はここもきれいでした。ステーキハウスにもいきました。お肉がいつはいいりました。やわらかくて、あじもここもあつた。パン、スープなどもあつた。おきなわのいきりや、見るものができていた。いいなあと思います。のり物にものりたいなあ。ひこうきに乗り、ちよつとこわかつたけど、空からみればしきがここもきれいでした。また行きたいと思えます。

千エリーハイツ

佐藤 ひろみ

皆様からのたいさんのご厚情
ありがとうございました。

へ寄付金

端野町手をつなぐ親の会
会長 富樫 隆 様

へ寄贈金

北見市赤十字奉仕団
委員長 稲積眞佐子 様

水野 亨 様 日本農産物産株
太田 仁志 様 ホテルバルコン
国際ソロプチミスト北見
会長 和田 洋子 様

安達 要子 様 佐貫 富子 様
北見交隣会会長 菊地 達 様
市川 慧 様

〈慰問く自転車点検・カラオケ〉
北見北交ハイヤー(株)カラオケ愛好会 様

〈人形劇招待〉
北見芸術文化ホール
管理者 中川 雄二 様

〈大道芸〉
老門 一郎 様

〈バンド演奏〉
ザ・ブロンコス 様

編集後記

新年度も気が付けば、既に三ヶ月目を経ち四ヶ月目に入ろうとしていきます。

思えば、今年の行事も四月の始業式から始まり五月の父母ワーク、そしてきたみ学園・川東学園でそれぞれ実施された「お好み旅行」や親子旅行。また三施設合同の「親子大運動会」など、矢つぎ早の中で取り組んできました。利用者のみなさんがこれ等の行事を通して楽しく喜ぶ笑顔が見えるだけに、職員も精一杯頑張り、次への活力に結びついていくものと日々実感しています。

今回の編集にあたり、担当者が各々の役割を担うしなくてはならない現状と、お互いに顔を合わせずして時間を持てなかつた状況とが偶然にも重なりました。従来の「川東の里だより」よりも素晴らしいものにしたと担当三人で悩み抜くほどでした。行事の写真を上手くセレクトし有効に活用できないものかと常日頃、思う時が度々あつたのも事実でした。

読まれる方がどんなことを期待され、楽しみにしていただけるかを編集担当としては、自覚しなければならぬと思えます。一つ一つ大事に取り組んでいきたく思います。
(担当 真田、飯田、大村)